
第 19 号

あ〜す・れっく

日資連界報

日本再生資源事業協同組合連合会

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-10 4F

TEL 03(3295)8551

FAX 03(3295)8552

発行人 福田啓治

編集人 佐藤和夫

印刷 (株)資源新報社

新聞と折込みチラシ一緒に回収

七都県市が新聞リサイクル推進会議で

平成十一年十月七日に開古紙と一緒に排出するようPR

東京都清瀬局「新聞リサイクル推進会議」運営委員会が開催され、「再生資源としての古紙を有効活用するため、新聞古紙と折り込み広告等のチラシと一緒に回収すること」が望ましい」との研究報告を同会議で承認した。またチラシの名称を「折り込み広告等のチラシ」とすることを確認した。

このことにより、東京都区市町村、七都県市の自治体と呼びかけ、地域によって異なる回収方法を統一化する。今後の対応について新聞社六社が今回のまとめを紙面掲載し読者への周知をはかり、新聞販売店、古紙回収業界、製紙会社も協力体制をとる模様。

今回から運営委員長が読売新聞社池田氏から山中氏にかわった。今後は、回収の時に使う整理袋について研究会で検討される。各業界、立場の枠を越えた会議進行が注目されること。

【新聞古紙と折込広告等のチラシの回収ルールに関する検討について】

一、検討に至る経緯

(一) 新聞販売店回収への影響

▽購読者サービスとして根付いてきた販売店回収整理袋に入れた上で折込広告等のチラシを新聞古紙と一緒に回収する

▽首都圏の自治体(市町村)の内、約三割の団体・行政回収や集団回収でチラシを新聞古紙と一緒に排出するようPR

※分けて出すように自治体がPRしている地域では「分けることがリサイクル」という意識が広がり、販売店回収に対する十分な理解が得にくくなり、その結果、販売店回収の運営が困難な状況になっている。

(二) 折込広告等のチラシに対する住民の意識

▽新聞古紙とは別に回収している地域も多くは雑誌古紙と一緒に回収しており、住民はチラシを「紙質が悪いもの」「リサイクルを妨げるもの」として認識

▽新聞古紙と一緒に回収している地域に住民はチラシを「紙質が悪いもの」と意識せず、※チラシへの認識は回収方法によって正反対となっており、整理する必要がある。

以上の点から、新聞リサイクル推進会議において、新聞古紙と折込広告等のチラシの取扱いについての検討を開始。

二、検討結果

(一) 結論

再生資源としての古紙を有効に活用するため、新聞古紙と折込広告等のチラシと一緒に回収することが望ましい。

(二) 理由

以下の点から、折込広告等のチラシ(以下「チラシ」という)は新聞古紙と一緒に回収する方が再生資源として、より有効に活用される。

折込広告等のチラシは、一般に紙質が良く新聞古紙と一緒に再生した方が新聞用紙、印刷情報用紙等からボール紙等まで幅広い用途に使用することができ、また、新聞用紙や印刷情報用紙等に使用した場合には繰り返し再生することも可能である。

一方、雑誌古紙と一緒に回収されたチラシは、その大半が、既に古紙利用の率の高いボール紙等にしか再生されないことから、大幅な需要増は見込めない。また、ボール紙等は新聞用紙、印刷情報用紙等のように繰り返し再生することができない。製紙メーカーの技術革新により、多色刷りのチラシも処理可能なDIP(脱墨パルプ)製の「新聞古紙と折込広告等のチラシ」は一緒に回収して良い旨、役員会で決定のうえ各支部へ周知徹底を図る。

(三) 七都県市首脳会議を構成する自治体

埼玉県、千葉県、神奈川県及び東京都内の区市町村の協力もめなが、住民等への周知を図る。

平成11年(1999年)日資連の主な活動日程

- | | | | |
|--------|---------------------------|---------|-----------------------------|
| ▽3月15日 | リサイクル循環型社会構築全国決起大会 | ▽7月22日 | 金属部会 |
| ▽4月6日 | 広報委員会 | ▽7月25日 | 青年部OB会(山梨) |
| ▽4月10日 | 青年部連絡会(大阪) | ▽7月29日 | 関資連理事会 |
| ▽4月17日 | 理事会 | ▽7月31日 | リサイクル化証明書委員会 |
| ▽5月9日 | 総会 | ▽8月8日 | 青年部連絡会(横浜) |
| ▽5月10日 | 厚生省・リサイクル化証明書の件 | ▽8月20日 | 古紙循環プロジェクト |
| ▽5月13日 | リサイクルシステム議員懇談会 | ▽8月21日 | リサイクル化証明書委員会 |
| ▽5月21日 | (社)日本鉄源協会・理事会 | ▽8月21日 | 理事会 |
| ▽6月9日 | 古紙循環プロジェクト(日資連、全原連、古紙ネット) | ▽8月23日 | 広報委員会 |
| ▽6月10日 | (財)古紙再生促進センター・理事会 | ▽8月27日 | カレット部会 |
| ▽6月11日 | ゴミ減量化推進国民会議・総会 | ▽8月27日 | 厚生省・リサイクル化証明書の件 |
| ▽6月13日 | 全国大会(奈良) | ▽9月17日 | (財)古紙再生促進センター・理事会 |
| ▽6月14日 | (社)日本鉄源協会・総会 | ▽9月19日 | 関資連・総会 |
| ▽6月15日 | (社)日本鉄リサイクル工業会・総会 | ▽9月27日 | 厚生省・リサイクル化証明書の件 |
| ▽6月15日 | 逢沢議員と懇談 | ▽9月30日 | リサイクルシステム議員懇談会 |
| ▽6月21日 | 大島議員と懇談 | ▽10月7日 | 新聞リサイクル推進会議 |
| ▽6月24日 | (財)クリーンジャパンセンター・理事会 | ▽10月8日 | カレット部会 |
| ▽6月24日 | 厚生省・リサイクル化証明書の件 | ▽10月14日 | 広報委員会 |
| ▽6月26日 | リサイクル化証明書委員会 | ▽10月19日 | (社)日本鉄源協会・理事会 |
| ▽7月4日 | 関資連拡大理事会(横浜) | ▽10月22日 | 古紙循環プロジェクト |
| ▽7月6日 | 近畿支部・組織拡大の為組合めぐり | ▽11月5日 | 厚生省・リサイクル化証明書の件 |
| ▽7月6日 | 厚生省・リサイクル化証明書の件 | ▽11月9日 | 合同委員会(市況対策委員会、リサイクル事業推進委員会) |
| ▽7月9日 | リサイクルシステム議員懇談会 | ▽11月10日 | 浜田議員との懇談 |
| ▽7月14日 | リサイクル推進協議会・総会 | ▽11月27日 | 青年部連絡会(郡山) |
| ▽7月15日 | リサイクルシステム議員懇談会 | ▽12月3日 | 広報委員会 |
| ▽7月16日 | 理事会 | ▽12月10日 | 古紙循環プロジェクト |
| ▽7月16日 | リサイクル化証明書委員会 | ▽12月15日 | 合同委員会(市況対策委員会、リサイクル事業推進委員会) |
| ▽7月18日 | 関資連青年部総会(群馬) | | |
| ▽7月21日 | 広報委員会 | | |

※2000年(平成12年)「新年号」は1月末日発刊予定!

會長 福田 啓治

は、憲法と自衛隊の関係で言いがかりの様な理由です。素人の私が憲法をどう捜査が進められつゝ読むかざり、自衛隊は憲法の違反です。これは、自衛隊が無用であるか、必要とするのか、いふ要かを問題にするという事ですではなく、あくまで慢を隠蔽しようとしていふのかと感じてしまひます。これほど手にしているから、それで良いのなら、民主主義の土壌を模索するものと理解しなさい。そして、議論のために、私は、何とも出来ません。やらない理由なら、誰にも一〇〇通りの理由があります。それで良いのなら

「注国語」から得ているのです。こんな事を考えているのか？を考えたんです。

憲法とは国家の基本を定める一番基本の法律で、その他の法は憲法の精神に則さなければならず、その根拠は、神奈川県警のみならず日本中にわたってあるはずの、

最後に、ニュースを賑わしているのが疑問です。目下、主主義であるかきり、我々、民の望む社会にならず、

の救い様のない不祥事で、大きく取り上げ、その背後にある社会を恐れてはいないか？と思います。変化する時代にあつて変化出

「俺はこう思う」

森岡 伸之

義務があるのは当然です。それから、自衛隊の様な組織は必要だと思つてゐます。しかし、だからこそ、それは国民のレベルと等しいと言われますが、これが官僚、又は行政と言ひなされるものではないかと云ふ疑問に思ふのを官俸制度すべてに等しい様に感じます。

例えば、自衛隊や憲法について何か言へば、軍制するに、まず事の正否を判断するには、必須の正確な情報を得る事が必要です。正確な情報なしで正しい判断はあり得ないからで

その責任を全うするためには、

税と責任があ

た。その主眼は、我々市民の生活に於ける政治的行動の原則を明らかにすることである。そして、この原則が、我々の生活に如何に適用されるべきかを示すのである。

本書の内容は、第一章から第五章までに分かれてゐる。第一章は「序論」であり、第二章は「政治の一般原理」、第三章は「政治の特殊原理」、第四章は「政治の實踐」、第五章は「結論」となつてゐる。

本書は、政治学に興味のある人々にとって、非常に有益な一冊である。特に、政治の一般原理と特殊原理の区別を明確にする点で、その価値は大いにある。

ムの動きが活発なことから、マスコミに取り上げられる事が増えまして、この事で考えるのは、なす事件当時いわれたように「破防法」を適用しなかったのか。本当に「新に民主主義的と言えますが、私の理解する民主主義的」といふこと、認じて、いつくり考えねばならないと確信します。神奈川県警の不祥事に於いて、今から次に、今現在（十一月十五日）に民主主義的と言えますが、私の理解する民主主義的」といふこと、認じて、いつくり考えねばならないと確信します。この激動する時代に生まれた事に責任をもつて対処しなければならぬと決意します。

東京都資源回収事業協
理 長 紺野 武 郎

「俺はこう思う」

森岡 伸之

年史・式典四方山話

に必要だと思つてゐる。それによつて何か言へば、軍機には、必ず事の正否をしかし、だからこそ、それが法的にその様にでもいと言われますが、これらでない事例は枚挙に暇がつかない。しかし、判断はあり得ないからで「法治国家」といふのを官権、又は行政と言ひ、又、あるものとして、

た。その主眼は、我々市民の生活に於いてよく見聞するところにある。それは最近まで、オウム運動と云ふある方が濃縮された姿で現れてゐる。手では、一つか二つを求め、強い口調で「変へて来い」と言ひ、私を誘ふ。時間が必要ないとかの言い訳で、いついつ現状維持とか先送りには逃げ込み持たになりますが、以後、私の姿勢は正確な情報を求む、強い口調を必要としないと思ひます。過ちがあるのなら二度とくり返さないために、何故おきたのか、何故止めらねたのか、自分の目から見て、一つか二つを求め、強い口調で「変へて来い」と言ひ、私を誘ふ。

この主張の主体は我々市民です。とすれば、我々のき、考えておかねばならないと思ひます。過ちがあるのなら二度とくり返さないために、何故おきたのか、何故止められなかったのか、自分の目で見て、一つか二つを求め、強い口調で「変へて来い」と言ひ、私を誘ふ。

ムの動きが活発なことから、マスコミに取り上げられる事が増えまして、この事で考えるのは、なす事件当時いわれたように「破防法」を適用しなかったのか。本当に「新に民主主義的と言えますが、私の理解する民主主義的」といふこと、認じて、いつくり考えねばならないと確信します。神奈川県警の不祥事に於いて、今から次に、今現在（十一月十五日）に民主主義的と言えますが、私の理解する民主主義的」といふこと、認じて、いつくり考えねばならないと確信します。この激動する時代に生まれた事に責任をもつて対処しなければならぬと決意します。

寄稿

「俺はこう思う」

森岡伸之

森岡伸之

の責任を全うするた
めには、まず事の正否を
判断するに必須の正確な
情報を得る事が必要です。
正確な情報なしで正しい
判断はあり得ないからで
す。

例に、自衛隊や憲法
について何か言えば、軍
国主義者であるかという
に思われ話し合いにもな
らない事例は枚挙に暇
がありません。しかし、
又どうも、さういふ

主義の主体は我々市民、それについて良く見、聞かなくてはならぬ。とすれば、我々のき、考えておかねばならぬ。望まない政治家や官僚、ある意味で、その国の政治家や官僚、制度は国民のおきたのか、何故止められなかったのかを自分の考え方、意識を述べた姿で、耳で、目で見、心で感ずる。採め事を避けるようとか、時間が足りないとかの言い訳で、いつい現狀維持とかなりますに逃げたい、がちになりますが、以後、私の姿勢は正確な情報を求め、言、訳をせず、変

これらの事から私が感
認し、じつと考へねば
ならないと確信します。
これの激動する時代に生
まれた事に責任をもつて
対処しなければならぬと
決意します。

合同で講演会と先進地を視察

合形式における将来性について講演した。初めての付加価値の高さ、また使用用途の広さ、例えば

函館名物の朝市で蟹の買
くとも一年の中、三ヶ月
い物をし昼食となる。北
は冬とし残りの九ヶ月で

前言

見通して悪い。滑走路の端が見えない。例のなんぐの妻そうに言われた。それなら汽車がある全員の明日の朝迄になんとお詫び申し上げます。(紙面の関係上遅れた事、エールをおくそう!!)

神 TEL 奈 TEL 板 TEL

〒260-0015 千葉市中央区富士見2-22-6
富士ビル5階
L 043(227)8273 ・ FAX 043(227)2033

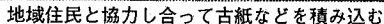
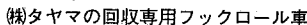
〒338-0826 浦和市大久保領家343-7
TEL 048(852)9048 ・ FAX 048(852)9075

〒322-0035 鹿沼市朝日町1952-2
EL 0289(62)2239 ・ FAX 0289(62)2239

株式会社タヤマ（三重）

専用コンテナ利用の回収方式

株式会社タヤマの回収方式は独創的でセトンのコンテナボックスを回収拠点に置き、フックロード車で引き上げヤードに持ち込むの。おそらく全国でも希有のこと。訪	古い体質も残っており改善する余地もある。大切なのは、お互いが信頼できうる関係をつくること、それで不透明要請。田山氏は「十数年前に組織結成で挫折した苦い経験があるのでま
--	--



第48回東北秋田大会

大きな変革期を実感させる

平成十一年九月二十六日、東北の各地と東京から、二〇〇名の参加を得て、第四十八回東北資連史を持って大会です。現在では秋晴れの大地日和となり、東北各地や東京から再生資源商工組合の連合会、二〇〇名の参加を得て、今年の秋田大会は長い歴史のなかでも特徴のある大会となりました。何れも変わった企画を立てたという事ではありません。変事の第一は参加者の数です。これまでの東北大会は少なうても三〇〇人、

してしまい、今次の大会が最後の参加となつてしまつたこととして、他界の事情のことです。平蔵はされませんで静し説き、東北地区への、ひいては全国組織に対する財政負担も重荷となっている面もあるかと思われまふ。

いづれ再加入の道を探るべく努力する必要があることは間違いないありま

せん。

議事日程などについて
は秋田県組合員の絶大な
協力もあつておおむね良
好と自賛しておりますが、
無事な大会運営などは小
さな問題と思はれるほど
の、大きな麥草期にいろ
んなことを実感させられ
た大会でした。

「あーす・れっく」に各地の声を!!

日頃は日資連広報委員会に格段のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、広報紙「あーす・れっく」は各方面からコメントをお願いしております。つきましては、貴組合・地域での出来事等を本部までご寄稿下さい。長短問いません。各地より多くの声が寄せられる事を願っております。皆様といっしょにつくる広報紙をよろしくお願い申し上げます。

部会長挨拶

金子博光

平成九年四月に容器包
装リサイクル法が施行さ
れ、ガラスビン、ペツ
トボトルが対象となり
各行政がそれに対応し
ております。

日資連については、今
後行政と関係した仕事

業界から問題提起

大阪ごみを考える会が集会

大阪ごみを考える会が集会
大阪府再生資源事業共
同組合（入江金男理事長）
は、十一月十九日に容器
包装リサイクル法を担当
的効率的な方法を
に提起するもの。

容り法の紙

話、自治体からの現状報告、リサイクル業界から事業所は六六九カ所で、紙製容器包装の再生処

編集後記

今後、皆さんのご協力のもと努力致します。

集合に参加した。これは、大阪ごみを考
える会（中院彰子代表）が企画したもの。同会は、循環型社会実現に寄与できると期待されている市民団体で、今までリサイクル促進のため、民間のリサイクル業界の力を活用できるような取り組みを行ってきた。

今回は、二〇〇四年四月から施行される容器包装リサイクル法に対応した回収システムを考えるので、市民、自治体がか抱えているリサイクルの難しい問題を、経験とノウハウと意欲とポリシーをもった民間リサイクル業界の力を活かした合理的な取組みを行った。

愛知64、三重15、滋賀4、京都14、大阪56、兵庫21、奈良4、和歌山2、鳥取1、岡山8、広島10、山口9、徳島5、香川6、愛媛9、高知1、福岡24、佐賀5、長崎4、熊本7、大分4、宮崎6、鹿児島7、沖縄1

料化で九カ所。
北海道23、青森7、
岩手7、山形4、秋田
4、宮城21、福島12、
茨城24、栃木8、群馬
7、埼玉55、千葉26、
東京41、神奈川44、新
潟13、富山4、石川4、
福井5、山梨3、長野
10、岐阜24、静岡32、
愛知64、三重15、滋賀
4、京都14、大阪56、
兵庫21、奈良4、和歌
山2、鳥取1、岡山8、
広島10、山口9、徳島
5、香川6、愛媛9、高
知1、福岡24、佐賀5、
長崎4、熊本7、大分
4、宮崎6、鹿児島7、
沖縄1

固形燃

一九九九年も残りわずか。恐怖の大王はどこにいったらう。

さて、資源業界の皆さんのこの一年はどうでしたか？ 今年の日資連で発行したりサイクル化証明書は、資源物（もっぱら）が置かれるあるいはない位置を明確にすると共に資源業界が自らの立に示す為の第場、内外に示す為の第一步としては、大きな期待がもてます。

まだまだ、いろいろな問題があるようですが、一致団結して乗り越え行きましよう。それでは良い年を、そして二〇〇〇年新年号でお会いしましょう。